

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

無鄰菴の運営について

国指定名勝 無鄰菴は、市民の文化の向上及び発展に資することを目的として、一般公開を開始した施設であり、年間約5万人の方々にご来場いただいています。

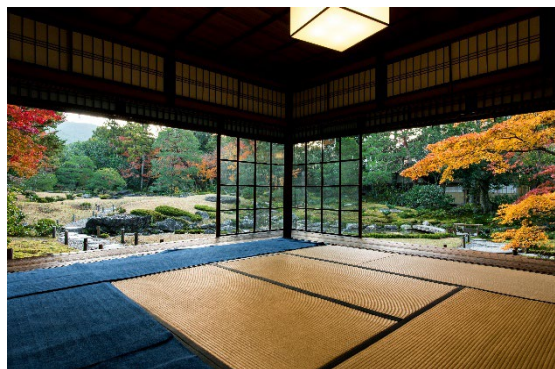
施設の主な取組（概要）

○ 自主事業の企画・実施

新緑・紅葉ライトアップ、夜間一棟貸し、庭園講座、文化講座といった自主事業を企画・実施しています。

○ 情報発信

ホームページやSNS等で、施設や自主事業に関する情報の発信を行っています。



無鄰菴に関する収入と支出（概数）

利用者1人当たりで換算すると、上記の取組などによる年間の支出は910円（総額5.0千万円）、利用料などの収入は540円（総額3.0千万円）です。この他、施設を利用しない方も含めた、市民の皆様からの税金や指定管理者からの負担金を活用し、運営しています。

<支出：910円（総額5.0千万円）>

総務事務費	職員人件費	施設管理費	維持修繕費
150円	410円	180円	170円

<収入：540円（総額3.0千万円）>

貸室料	入場料等	差額 370円 市民の皆様からの税金・ 指定管理者で負担
30円	510円	

※ 無鄰菴及び岩倉具視幽棲旧宅を一括管理しているため、両施設の数値を合算して記載しております。

※ 上記の概数は、令和4年度の運営状況から算出しております。